

NO. 59(令和2年11月15日発行)



社会福祉法人
愛の鈴
AINO-SUZU

愛の鈴通信



10月2日 ハイキングに行きました (町田ダリア園にて)

目次

- ・ 理事長のことば
- ・ 町田おかしの家 便り
- ・ ケアホーム愛の鈴 便り
- ・ 法人本部報告
- ・ 町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・ アクセスマップ
- ・ 人事異動、その他

理事長のことば

社会福祉法人愛の鈴

祈りとは

理事長 植草 三樹男

「我を忘れる」「無我夢中」「心頭を滅却すれば火もまた涼し」
「火事場の馬鹿力」「命がけ」

「一つのことに集中している時」のことをいろいろな表現で表します。私の父はいつも言っていました。「命懸けでやれ」私はそれを聞きながら「あなたはそれをやっていると思えない」と心の中でつぶやいていましたが、最近時々そのことを思い出して素敵な親父だったと懐かしく思い出します。怒る時も泣くときも本気でした。

本当に集中している時は、神様が働いている時ではないかと感じます。その時は自分・自我は存在していないので、神が私の代わりに私を支配しているのではないかと思います。だから、自分以上のことが出来て奇跡が起きるのではないのでしょうか。我を忘れて、集中して祈ることが私の今の課題です。

祈ることは、神様との双方向の会話をするのだと教わりました。祈りは「お願い」だけだと勘違いしていました。今朝、6時に散歩に出かけました。冷たいきれいな空気がさわやかでした。おいしい空気に感謝しました。空には薄い真綿のような雲が、朝の光で輝いていました。毎朝、雲はいろいろな形をしています。神様は芸術家だなあ！空はどこを見ても飽きない、と楽しんでいたら、ここで神様と話してみようと「神様、コロナで売上が下がって子供たちが困っています。どうしたらいいんですか？」と聞いてみました。

神様の答えは「明日のことは心配しても仕方ない。今日やることをやりなさい。」でした。「いつも喜んでいなさい、常に祈りなさい。どんな事にも感謝しなさい。そして全て私に任せなさい。」でした。初めて神様と会話できました。これが朝の散歩の祈りだと分かりました。

これから毎朝、神様と会話をしてみます。

令和2年10月27日



町田おかしの家 便り

新しいお仕事



10月から使用済みのパソコンの解体作業がはじまりました。日本国内での再資源化を目指し、解体・分別を行っています。資源のリサイクル、ゴミの減量化・環境保護を実現し、それと同時に工賃の向上につながります。

特に基板部品の中に含まれる金等のレアメタルと呼ばれる資源は、日本ではほとんど生産されておらず、輸入に頼っているのが現状です。都市鉱山に眠るレアメタル資源の再利用は、大きくは国益にも寄与する事業となります。

地下1階でゴム手袋・エプロン・メガネを着用し、安全を確保しながら作業を行っています。

- ・不要・使用済みのパソコンのご提供をお願いします。(無料回収致します。)
- ・情報漏洩対策は万全に行います。

ハイキング 10月2日

「相模原公園散策コース」と「ダリア園～四季彩の杜・町田リス園コース」の2グループに分かれてハイキングに行きました。良い天気恵まれ、自然の中で楽しい時間を過ごしました。



町田ダリア園



相模原公園



町田リス園



誕生会

9月7日
YRさん
SHさん



みんなでお祝いしました！

10月16日
OYさん RGさん
OMさん NTさん
MAさん



南町田教会 生活協力サービス委員会様から新鮮なお野菜、お米をいただきました。本当にありがとうございました。

ケアホーム 愛の鈴



誕生日会と日中活動先訪問



RYさん（左から2人目）の誕生日会。ご本人の希望で可愛いキャラクターのアイスクーキやお寿司、唐揚げでお祝いしました。会の始めに、将来の抱負を読み上げておられました。記念に仲良しの皆さんで写真を撮りました。

GRさん（右）とSIさん（下）の合同誕生日会（バーベキュー）を開催しました。お二人とも、お肉や焼きそばを美味しそうに召し上がっておられました。



SIさんの通所先にお邪魔して、普段の活動の様子を見せていただきました。お手玉をお皿に移す活動では、慣れた手つきでお手玉を運んでおられました。



法人本部報告

「理事会報告」

- 令和2年度 第3回 理事会（令和2年10月19日 午後 開催）
議案・令和2年度第2次補正予算 ・評議員会の招集
報告事項（定款第19条第3項に基づく報告）

・法人本部、町田おかしの家、ケアホーム愛の鈴運営状況について

「評議員会報告」

- 令和2年度 第2回 評議員会（令和2年11月9日 午後 開催）
議案・令和2年度第2次補正予算
報告事項

・法人本部、町田おかしの家、ケアホーム愛の鈴運営状況について

「ご寄付受入状況報告」（敬称略）（前回号から令和2年10月31日現在）

皆様からのご寄付は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。

<法人全体へのご寄付（法人運営資金として）>

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| ・浅見源司郎 | ・伊藤美保子 | ・猪野塚重 | ・猪野塚睦子 |
| ・植草三樹男 | ・宇佐美より子 | ・小野恭子 | ・加藤武仁 |
| ・加藤雅子 | ・久保田民子 | ・栗原弘美 | ・齋藤謹也 |
| ・齋藤美智子 | ・須賀みど里 | ・柗津都子 | ・松岡浩子 |
| ・御厨啓子 | ・美馬道人 | ・森高登志夫 | |

<町田おかしの家へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・丹後美穂
- ・株式会社名晋電機

<ケアホーム愛の鈴へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・猪野塚幸子
- ・小林悟

物品のご寄付

日本基督教団 南町田教会 様から、
町田おかしの家及びケアホーム愛の鈴へ
新鮮なお米2袋とお野菜（各種2箱）を
いただきました。



皆様の当法人及び事業所への温かな見守りとご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

町田おかしの家

～商品ラインナップ～



QRコードから町田おかしの家ホームページ内の商品紹介へアクセスできます。

「もち米最高峰の宮城県産みやこがねもち」を使用した
人気のおかきシリーズ 各種 1袋100円



揚げ煎 醤油



アーモンド



揚げ煎 塩



固粒



甘辛

おかき袋詰め
(5袋入り)



600円

おかき箱詰め (15袋入り)



1700円

御前崎煎茶



850円

上煎茶



1000円

粉末緑茶



700円

プチあんじゅ



1袋 100円

1箱 (10袋入り) 1200円

チョコラスク



1袋 120円

特等 日高昆布 有明産 焼き海苔



1袋 800円



1帖 (10枚入り)
400円

※プチあんじゅは、11月からあんどーなつがかわります 是非ご賞味下さい。

アクセスマップ



就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 小山田桜台行
町田工業高校前 バス停下車 徒歩10分



共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

〒194-0038

東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 野津田車庫前行
・小山田行・橋本駅北口行等 下根岸 バス停下車 徒歩5分



愛の鈴通信を読んだご感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下にご記入の上、FAX等でお送りください。
今後の参考とさせていただきます。

FAX 042-792-9767（町田おかしの家）・042-794-4122（ケアホーム愛の鈴）
までお送りください。

人事異動

- ・任命：令和2年 9月 7日付 町田おかしの家 職業指導員 篠原 覚（非常勤）
- ・任命：令和2年 11月 1日付 ケアホーム愛の鈴 世話人 鈴木 千恵（非常勤）

編集後記

紅葉の美しい季節となりました。町田おかしの家では、一足早いクリスマス商品の作業や新豆の落花生・甘納豆の袋詰めに加えて、新しいパソコンの解体作業が始まりました。引き続き新型コロナウイルスの感染予防をしながら、元気に明るく、みんなで頑張っています。（青山）

当法人が経営する日中活動事業（町田おかしの家）と共同生活事業（ケアホーム愛の鈴）において、これまでの事業の進め方にまた少し変化を強いられており、柔軟な対応が必要とされています。新型コロナウイルスの影響を受け、受注先企業からの下請け作業の減少、送迎利用希望者増加の対応、行動自粛生活の中での余暇支援等々。どのような要因であっても、すべての変化に職員が知恵を出し合って行動し、利用者さんにとって安全・安心した事業が営まれるよう努める日々です。ホッと一息つけるのは、利用者さんの笑顔を見た時やご家族から労いの言葉をいただいた時、また、同じ志を持つ職員同士のちょっとした笑話。いつまで続くのかと心折れそうな時に思い出すのは、理事長からの「いつもありがとう」というこの上ない言葉。現場職員の気持ちを理解して下さる方がいることを感じながら心と気持ちを奮い立たせ、先の見えない中でもまた次の一歩を全職員と共に踏み出していきます。（小金井）